

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 29 年 11 月 7 日 (18 : 30 ~21 : 30 )

1. 初期支援 (はじめのかかわり)

メンバー 吉田 三崎 益田 柴 近藤 藤田 岡  
小福田 戸田 前原 山田 (東条 洩野 和田)

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	5 人	8 人	1 人		14 人

前回の改善計画

- ・新規利用者に対して基本情報を新規ファイルで確認し情報を共有する。
- ・初期の段階からご本人、ご家族共にしっかりコミュニケーションをとり、事業所との関係性を作り、安心して利用して頂くよう配慮していく。

前回の改善計画に対する取組み結果

- ・基本情報にアセスメントシート、計画書等と一緒に確認できるようにしている
- ・新規の利用者は、特に不安を持たせない様に誰かが寄り添い話をするようにしている。
- ・利用後には家族に様子を知らせ安心して頂くようにしている
- ・利用日がわかりやすいようにカレンダーや週間予定表などその方に合ったわかりやすい方法で知らせるようになっている。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか?	5 人	7 人	2 人		14 人
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか?	4 人	9 人	1 人		14 人
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いでの声掛けや気遣いができていますか?	4 人	9 人	1 人		14 人
④	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか?	3 人	9 人	2 人		14 人

できている点 200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること

- ・基本情報をもとに利用者の今までの生活等から話を広げて会話をしている。
- ・ご本人の話を良く聞く事で、良い関係性作りに努めている。
- ・家族、利用者の気持ちになって受けとめる為にも傾聴し、不安の把握に努めている。また利用開始後も安心してもらえるよう声をかけたり、家族には利用時の様子等を話すように心掛けている。

できていない点 200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

- ・ミーティング等で把握できている情報の共有を図っているが、基本情報の把握は、職員の個人差があり全員が、情報共有できていない。
- ・医療面について知識が不足している為、情報面において病気や服薬内容がきちんと理解しきれていない部分がある

次回までの具体的な改善計画 (200 字以内)

- ・情報を共有するツールとして基本情報シートを作成し、ADL や状態、対応策、気をつけることなどの把握に努め、その情報をもとに職員間でコミュニケーションを取りながらその方を積極的に知ろうと (理解) する。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 29 年 11 月 7 日 (18 : 30 ~21 : 30 )

2. 「～したい」の実現 (自己実現の尊重)

メンバー 吉田 三崎 益田 柴 近藤 藤田 岡  
小福田 戸田 前原 山田 (東条 渋谷 和田)

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	7 人	5 人	2 人	14 人

前回の改善計画
・全員のことを把握することは難しいので個別で担当を決め、アセスメント、ケアプランを確認する。また、日々の話の中で「～したい」ことを探り、モニタリングに記入していく。
前回の改善計画に対する取組み結果
・担当を決め、コミュニケーションを取る様に務めたが意識しないとなかなか時間が取れない。 ・アセスメントやケアプランを確認していても、ただ目を通してだけで、その目標に対してのアプローチの取り方や、モニタリングの意識付けができていない。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	「本人の目標 (ゴール)」がわかっていますか?		13 人	1 人		14 人
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか?		10 人	4 人		14 人
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか?		3 人	11 人		14 人
④	実践した (かかわった) 内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか?		3 人	10 人	1 人	14 人

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・しっかり話をするよう努めている ・担当利用者が決まった事で、短時間でも目を向け声掛けし、「～したい」を知る努力をしている	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・日々の会話はしっかりできているが、単なる世間話になっており、生活向上に結び付けたり、したいことの把握に至っていない ・利用者様自身が「～したい」と思えることが少なくなっており、言葉になっていない心の声をくみ取るとは難しい	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
・介護過程の展開 (アセスメント→プラン確認→実施・モニタリング→評価) を理解する。 ・どんなことがしたいといっても出てこないことが多い為基本情報を中心に生活してきたことや興味などから関心があることを探っていく。必要によっては、興味関心チェックシートを利用してみる	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 29 年 11 月 7 日 (18 : 30 ~21 : 30 )

3. 日常生活の支援

メンバー 吉田 三崎 益田 柴 近藤 藤田 岡  
小福田 戸田 前原 山田 (東条 渋谷 和田)

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	4 人	8 人	2 人	人	14 人

前回の改善計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>引き続き、その日あったことや気づいた点を夕礼の中で情報共有し、対応方法を検討する。また夕礼ノートは、出来事だけを書くのではなく、話し合ったことや参加できなかった職員からも意見や別の情報を書き加え、色を変えることで見やすくするなど工夫する。</li> <li>かたらい会議の際にも、必要に応じて事例検討を行っていく。</li> </ul>
前回の改善計画に対する取組み結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>夕礼ノートでしっかりその日あったことの情報共有できている。</li> <li>良かったことなども書かれているが、もっと本人にとって楽しそうだった点や笑顔になった点、がんばった点など良い所を見つめ、その中から生きがいや役目などが出てくるとよいと思う</li> </ul>

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が10個以上把握できていますか?		1 人	11 人	2 人	14 人
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか?	5 人	9 人			14 人
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか?	3 人	8 人	3 人		14 人
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか?	5 人	8 人	1 人		14 人
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか?	6 人	8 人			14 人

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> <li>その日あった事や気づきを夕礼で共有でき、対応方法も検討している。</li> <li>利用者様の体調の変化・個別の状況(台風時の一人暮らし)に合わせた対応が出来ている。</li> <li>その日あったことや起きたことなどは充分書き入れることはできている。またかたらい会議でも今の状況を話し合うことができている。</li> </ul>	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> <li>自己主張のはっきりしている方に、目が向いてしまい、うまく表現の出来ない人の思いを十分わかり得なかった。</li> <li>こうあるべきではないかと思う職員の気持ちが優先し、利用者本人の思いをくみ取れず本当の気持ちに寄り添えない部分がある。</li> </ul>	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
<ul style="list-style-type: none"> <li>担当利用者についてアセスメントシートをもとに日常生活支援シートを作成し、変化のあった際はその都度書き加えることで、事業所職員全員が状態や変化を把握しやすくしていく。</li> </ul>	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 29 年 11 月 7 日 (18 : 30 ~21 : 30 )

4. 地域での暮らしの支援

メンバー 吉田 三崎 益田 柴 近藤 藤田 岡  
小福田 戸田 前原 山田 (東条 渋野 和田)

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	4 人	8 人	2 人	人	14 人

前回の改善計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ご本人だけでなくご家族ともコミュニケーションを図り家庭内の様子の把握に努める。</li> <li>・知り得た情報を口頭で報告しあうだけでなく、夕礼ノートや初期ファイルに書き込み、職員全員で情報共有を行っていく</li> </ul>
前回の改善計画に対する取組み結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・友人や近隣など把握できる情報は、本人との関わり中で、基本情報を参考にしながら探り出そうとしているが、口頭で報告しあうだけで、申し送りノートや初期ファイルに書き込むことがなかなかできず、職員全員の情報共有まで至っていない。</li> <li>・利用者によっては、一人暮らしの方も多く情報が取りにくかったり、話す内容がその都度変わっていく事も多く把握が難しくなっている。</li> </ul>

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか?		10 人	4 人		14 人
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか?		9 人	4 人	1 人	14 人
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか?		2 人	12 人		14 人
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか?		2 人	9 人	3 人	14 人

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> <li>・送迎時に家族と話が出来る際には、最近変ったり困っている事はないかを聞くことで家庭内での生活の状況を把握している。</li> <li>・知り得た情報から本人の地域活動の把握をし、要望があった場合対応している</li> <li>・訪問時や送迎時、困ったことや気になっている点など地域の方から声をかけられ、相談されたこともあった。</li> </ul>	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> <li>・本人と地域との関わりを把握しきれていない所がある。</li> <li>・夕礼ノートの活用はできていると思うが、時間もなくなかなかファイルに追加を書く事ができない。</li> <li>・家の様子を話した方がららない方については、情報が取りにくく、暮らし方が把握しきれていないところがある。</li> <li>・問題なければよいと流す部分もあるが、日頃の様子やコミュニケーションの中で変化を察知し把握に努めることが必要だと思う</li> </ul>	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
<ul style="list-style-type: none"> <li>・今期も引き続き近所の方との挨拶コミュニケーションを取り情報収集をしていき、日常生活支援シートに書き込んでいく</li> </ul>	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 29 年 11 月 7 日 (18 : 30 ~21 : 30 )

5. 多機能性ある柔軟な支援

メンバー 吉田 三崎 益田 柴 近藤 藤田 岡  
小福田 戸田 前原 山田 (東条 渋野 和田)

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	2 人	9 人	1 人	2 人	14 人

前回の改善計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域の情報をもとに今までの関係性が途切れず、利用者様が住み慣れた地域での活動、行事等に参加できるようご家族やご本人に働きかけ、地域活動への参加をサポートしていく。</li> </ul>
前回の改善計画に対する取組み結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>個人的には参加されている方もあるがほとんどの利用者様や家族にとって地域活動に対して積極的に考えていない。また地域の方も町内のことについては「もうしなくてもいいのではないかと」考えている方もいる為地域活動の支援は難しい</li> <li>ニーズに応じた生活支援はできているが地域との関係性が希薄になってきている為支援が難しい</li> </ul>

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか?	2 人	7 人	4 人	1 人	14 人
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか?	9 人	4 人		1 人	14 人
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができていますか?	3 人	8 人	1 人	2 人	14 人
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか?	4 人	5 人	5 人		14 人

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> <li>家族や本人の要望だけではなく、体調に合わせ「通い」「訪問」「宿泊」を柔軟に組み合わせ対応出来る。</li> <li>日々の関わりから本人の変化をしっかりと把握し、食事提供、入浴日や介助の仕方など柔軟に対応している。</li> </ul>	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> <li>回覧板を確認したり回したりはしているが、その先の行事等の参加が出来るかどうか、また参加出来たかの話が把握できない。(判断出来ない)</li> <li>地域資源が使えるところは使うようにしているがサービスが入ることで今まで支援して頂いた方が遠のくこともあり、地域の方に対して理解と協力をお願いすることも必要だと思う</li> </ul>	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
<ul style="list-style-type: none"> <li>引き続きできる限り本人の気持ちや家族のニーズに沿った泊まり通い訪問サービスなど多様にサービスを柔軟に対応していく</li> <li>本人が地域の中で生活していく為に地域の関係づくりや地域の方へのアプローチや声掛け、情報収集などを行っていく</li> </ul>	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 29 年 11 月 7 日 (18 : 30 ~21 : 30 )

6. 連携・協働

メンバー 吉田 三崎 益田 柴 近藤 藤田 岡  
小福田 戸田 前原 山田 (東条 渋野 和田)

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	2 人	8 人	4 人	人	14 人

前回の改善計画	<ul style="list-style-type: none"><li>引き続き、体調や医療面で困っていることを積極的に主治医に相談する。</li><li>地域の情報をもっと積極的に知るように努める。</li></ul>
前回の改善計画に対する取組み結果	<ul style="list-style-type: none"><li>地域支援センターや地域ケア総合推進センターから利用者様の紹介が多くあり、連携を持ちながら利用者様のより良い支援に努めている。</li><li>定期受診に同行し体調や医療面の困り事を積極的に主治医に相談出来ている。</li></ul>

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	その他のサービス機関（医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所）との会議を行っていますか？	9 人	2 人	1 人	2 人	14 人
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか？	5 人	1 人	3 人	6 人	14 人
③	地域の各種機関・団体（自治会、町内会、婦人会、消防団等）の活動やイベントに参加していますか？	4 人	3 人	4 人	3 人	14 人
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか？	8 人	4 人		2 人	14 人

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"><li>事業所としては他職種との連携もとれ利用者の安心につながられていると思う。</li><li>地域包括支援センターからの情報や問い合わせがある。また利用始めてからの状況を連絡することで情報の共有ができています。</li><li>近くの保育園や小学生の訪問もあり利用者との交流ができています。</li></ul>	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"><li>地域の情報を把握出来ていない事が多い。</li><li>乙多見町内会には参加できているが他の町内(利用者様の個々の地域)活動の把握、参加はできていない</li></ul>	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
<ul style="list-style-type: none"><li>体調や医療面で困っていることを積極的に主治医に相談する。</li><li>地域包括支援センターの職員と連携していく</li><li>地域の情報をもっと積極的に知るように努める。</li></ul>	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 29 年 11 月 7 日 (18 : 30 ~21 : 30 )

7. 運営

メンバー 吉田 三崎 益田 柴 近藤 藤田 岡  
小福田 戸田 前原 山田 (東条 渋野 和田)

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	5 人	8 人	1 人		14 人

前回の改善計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>・あいさつし続けることによって、近隣との交流を図り、自分たちのことを知っていただけるようにする。</li> <li>・施設見学会を通し事業所の紹介を続けていく。</li> </ul>
前回の改善計画に対する取組み結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・送迎時、近隣の方に出会った際きちんと挨拶しており声をかけられることもある。</li> <li>・地域交流カフェを開催し事業所の見学説明、相談コーナーを設けたので町内の方の参加があった。</li> </ul>

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができますか?	1 人	6 人	3 人	4 人	14 人
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか?	9 人	3 人	1 人	1 人	14 人
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか?	9 人	3 人	1 人	1 人	14 人
④	地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取組みを行っていますか?	4 人	6 人	3 人	1 人	14 人

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> <li>・車に事業所の名前や電話番号もあり近所の方にも認識してもらう様にしており、送迎時には近所の方が出たら挨拶を行い地域とのつながりになるように心掛けている。近隣の方に挨拶する事で、一人暮らしの方の情報を教えてもらい、何か気になる事があった時には事業所に連絡してもらえるケースも出来た。</li> <li>・地域交流カフェを開催することができた。</li> </ul>	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業所と地域の方との交流を深めることを目的に地域交流カフェを開催したが、始めたばかりなので認知度も低く参加が少ない</li> </ul>	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域交流カフェの活用を続け、参加人数を増やしていく</li> </ul>	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 29 年 11 月 7 日 (18 : 30 ~21 : 30 )

8. 質を向上するための取組み

メンバー 吉田 三崎 益田 柴 近藤 藤田 岡  
小福田 戸田 前原 山田 (東条 渋野 和田)

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	1 人	10 人	人	3 人	14 人

前回の改善計画	・岡山県小規模連絡会の研修に介護職員できる限りも交互に参加し、他の小規模事業所との交流を図れるようにする。
前回の改善計画に対する取組み結果	・少人数ずつではあるが、小規模の研修に行く機会を増やしている。 ・他小規模事業所の話を知ったり、見たりすることで情報を得ることができた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	研修 (職場内・職場外) を実施・参加していますか	1 人	9 人	2 人	2 人	14 人
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか		8 人		6 人	14 人
③	地域連絡会に参加していますか	4 人	1 人		9 人	14 人
④	リスクマネジメントに取り組んでいますか	5 人	4 人	4 人	1 人	14 人

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・事業所内の研修に参加し感染症対策はかたらい会議でも取り組んでいる。参加出来ない職員にも個人的に行われる。 ・ヒヤリハット記入の用紙も取り上げやすい形式になった。 ・個人的には、研修・スキルアップの為の研修に参加し日々の取り組みに活かしている。 ・毎回会議の時にみおつくしを読み返っている。	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・研修の機会がまだまだ少なく参加できない職員がいる。 ・ヒヤリハットで気づく点が少ない。またヒヤリハットや問題改善報告書で上がったことが全員で共有できていない	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
・細目にヒヤリハットを多くあげ、全員で内容を共有し事故防止に努める。 ・みおつくしの読み合わせを行い自分自身を振り返る ・意見を言いやすい環境にしてい	



事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 29 年 11 月 7 日 (18 : 30 ~21 : 30 )

9. 人権・プライバシー

メンバー 吉田 三崎 益田 柴 近藤 藤田 岡  
小福田 戸田 前原 山田 (東条 渋谷 和田)

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	3 人	9 人	2 人	人	14 人

前回の改善計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>排泄に対してパット等の持ち運びに配慮する。</li> <li>利用者様に対して大きな声で言うのではなく、プライバシーの配慮から職員間で伝達する場合は、場所を考えたり、本人だけにわかる様にそばで声掛けをするようにする。</li> </ul>
前回の改善計画に対する取組み結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>排泄時のパット等の持ち運びに関してはトイレ内でパットを管理したり、プライバシーの意識づけも出来ている。</li> <li>利用者に関することはできるだけ事務所内で話すようにしている。</li> <li>耳が聞こえない人に対しては大きな声でわかりやすく言わないと通じない為必要に応じて大きな声で問いかけることがある。</li> </ul>

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	身体拘束をしていない	12 人	2 人			14 人
②	虐待は行われていない	9 人	5 人			14 人
③	プライバシーが守られている	3 人	9 人	2 人		14 人
④	必要な方に成年後見制度を活用している	10 人	4 人			14 人
⑤	適正な個人情報の管理ができています	9 人	5 人			14 人

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> <li>立ち上がりや移動される様子がある時には自然にそばに付く様にし見守りをしている。</li> <li>「拘束・虐待・個人情報の管理」については研修で受けており適切な対応が出来ている。</li> </ul>	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> <li>無意識に大きな声で伝えてしまっている時がある。</li> <li>利用者がトイレに入る時「入っています」の札をしていなかった為、他の利用者がドアを開けてしまう事やトイレから出ているのに札がそのままになっている。また、トイレ使用后、流れていない事や汚れていることがあり、利用者に嫌な思いをさせてしまうことがある</li> <li>虐待や拘束までとはいかないが、職員の声掛けや言い方で利用者に嫌な思いや我慢させることがある。</li> </ul>	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
<ul style="list-style-type: none"> <li>共同生活の場でもあり人権・プライバシーに十分注意し、利用者に配慮した対応に努めていく。</li> <li>自分の愛称で呼ばれることを好まれる方は別として、できるだけ名前と呼ぶようにする。</li> </ul>	

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	社会福祉法人幸輝会	代表者	国富隆夫	法人・事業所の特徴	『利用者様それぞれの安心、よろこび、楽しみを見出していく。～個々の違いに心の目を向けて～』を行動目標に一人ひとりの個性や思いを受け入れ「～したい」の実現に向けて、できる力を広げ、自宅を中心にした在宅生活の継続できるよう取り組んでいる。
事業所名	かたらい	管理者	吉田茂美		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	人	人	6人	人	1人	1人	1人	3人	人	12人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取り組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	<ul style="list-style-type: none"> <li>ご利用者様の「～したい」を実現するために個別に担当を持ち、相談しやすい関係性を作っていく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>どんな「したい」があるかを書きだし、糸口をつかみ、言葉を「見える化」することが大切ではないか。</li> <li>責任を持って行う上で、担当職員を決めるのは重要である。継続してほしい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>事業所自己評価の問いがたくさんあり過ぎる優先順位をつけて一つずつ具体化していく必要がある。</li> <li>利用者のしたい事を担当職員が示し、選択肢を広げていけばよいのではないか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>個別の担当者が「興味関心チェックシート」を利用し「～したい」の実現を具体的に行う。</li> </ul>
B. 事業所のしつらえ・環境	<ul style="list-style-type: none"> <li>安心できる居場所として、引き続き、利用者様にとって快適で過ごしやすい空間を根ざしていく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>施設に来たら気になる臭いが無いので、気を付けられていると思う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>カギをかける所が全部で何か所あって、そのうちの何か所解放できたなど「見える化」「数値化」をすることで外部に評価してもらいやすいのではないか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>安心できる居場所として、引き続き、利用者様にとって快適で過ごしやすい空間を根ざしていく。</li> </ul>
C. 事業所と地域のかかわり	<ul style="list-style-type: none"> <li>町内行事に参加することで地域との関係をより良いものとしていく。</li> <li>地域への貢献ができる様に具体案を考えていく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域住民も施設職員に「地域の活動に参加して下さい」と声をかける回数が少ないこともあるので今後は参加の呼びかけてを行うようにしたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>事業所の名前は分かっても内容は分かっていない。パンフレットなど回覧板や町内の会合で具体的に事業所を知ってもらい、困り事や相談を、事業所に行ってすればよい事を周知してもらいたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域交流カフェの年間計画を立て開催する。</li> </ul>
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取り組み	<ul style="list-style-type: none"> <li>個々が親しんだ所や行きたい所に出かけていく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>季節ごとの外出の様子は、経過報告等で確認できている。</li> <li>外出は楽しみにされており、しっかり楽しまれる間に行えるとよいと思う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>外出は、どの様な体制で出かけるのか？</li> <li>外食や季節の外出など全体で出かけたり、少人数で行きたい所に行くなど月に一回以上の外出を行っている。個別で服を買う、銀行に行く等のニーズにも答えている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>個々が親しんだ所や行きたい場所に出かけていく。</li> </ul>
E. 運営推進会議を活かした取り組み	<ul style="list-style-type: none"> <li>老人会や町内会を通じて、見学会や相談会を開催し、地域の方の相談場所として利用してもらえるようにしていく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域交流会や見学会が開催されたので来させてもらったがなかなか地域住民の集まりが悪いと感じた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域の困りごとについて問題を持ち寄り、グループ毎に検討するのも良いのではと考えている</li> <li>フリートークがあっても良いと思う</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>しっかり意見が頂けるような会を考えていきたい。</li> </ul>
F. 事業所の防災・災害対策	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域の代表者ある運営推進委員の皆様と事業所の職員とで合同の避難訓練を行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>避難場所になっている事は職員間で理解できているのか？</li> <li>避難場所として認知されているので良いと思う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>一時避難所になっているので、その概要を話す機会があるとよい。避難する時の対応や職員の体制作りが出来ているか聞きたい</li> <li>施設の火災予防にくれぐれも注意してほしい</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域の代表者ある運営推進委員の皆様と事業所の職員とで合同の避難訓練を行う。</li> </ul>